

実践事例 ○平成21年度研究委嘱地域の取組

研究主題
児童生徒の望ましい食習慣の育成を目指して

鳩ヶ谷市教育委員会

I 鳩ヶ谷市の概要

1 鳩ヶ谷市の概要

鳩ヶ谷市は、埼玉県の南部に位置し、川口市と東京都に囲まれた、市域が6.2平方キロメートルの蕨市に次ぐ日本で2番目に小さな市であり、現在は6万人を超える人口である。

2 学校規模等 (平成21年5月現在)

○学校数	小学校	6校	中学校	3校
○児童生徒数	小学校	3,228名	中学校	1,422名
○教職員数	小学校	196名	中学校	93名

II 研究の概要

1 研究の構想

鳩ヶ谷市小・中学校食育推進総合計画

「心豊かに生きる力を
育む食育」



- 朝食欠食率 達成目標*
- 1 教育に関する3つの達成目標
小学校 1%以下 中学校 3%以下
 - 2 全国学力学習状況調査、全国体力・運動能力、運動習慣調査
小学校 1%以下 中学校 2%以下

食育推進6つの視点

- 望ましい栄養や食事の摂り方の理解 ○食事のマナー等社会性の育成
- 地場産物や食文化の理解 ○食事を大切にし、感謝する心の育成
- 食事の重要性の理解 ○食物の安全性などを自ら判断する能力の育成

望ましい食習慣の育成

朝食欠食の改善を図る学校の取組

- 食に関する調査研究
- 食育推進に関する体験活動
- 食に関する指導
(指導方法の工夫改善等、授業研究)

学校・家庭・地域の連携を図る取組

- 鳩ヶ谷市食育推進協議会の活性化と学校等への支援組織「食育推進プロジェクト」の新設
- 食育の推進を図る啓発活動
- 食育に関する研修

2 推進組織

「鳩ヶ谷市食育推進協議会」が市の食育を推進している。市内小・中学校、市PTA連合会、JA川口市、学校教育課、生涯学習課、産業振興課、市保健センターが所属している。また、この協議会や学校、家庭、地域を支援をする組織「食育推進プロジェクト」を新設した。

III 実践事例

1 朝食欠食の改善を図る学校の取組

- 食に関する調査研究
 - ・ 年2回の実態調査
- 朝食欠食の改善を図る体験活動
 - ・ 料理教室 (朝食レシピ等) や学校行事



親子料理教室 (朝食の調理実習)

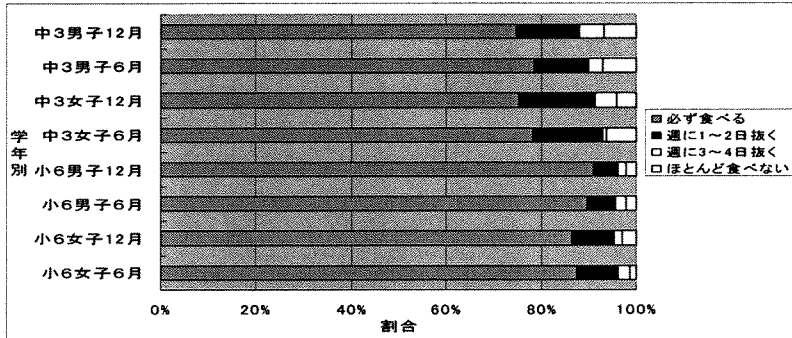
○ 食に関する指導（指導方法の工夫改善等、授業研究）

- ・ 食育に関する年間の学習計画の見直しやT T等の指導方法の工夫改善、指導資料の作成

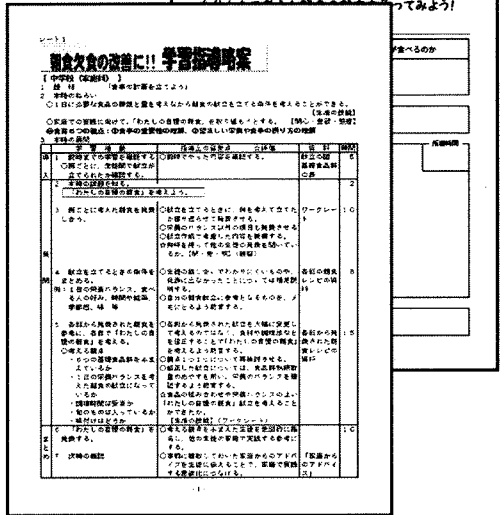


食育に関する実態調査」調査結果（児童生徒・保護者・教員に実施）

問1 あなたは、毎日朝食を食べますか。



* 平成19年度から継続的に行っている調査。今年度は、朝食欠食に関する内容に焦点化して実施した。



食育指導資料(リ-フレット)

2 学校・家庭・地域の連携を図る取組

○ 鳩ヶ谷市食育推進協議会の活性化と学校等への支援組織「食育推進プロジェクト」の新設

※ 食育推進プロジェクト

- ・ 栄養教諭や学校栄養職員、指導主事で構成
- ・ 食育推進協議会や各校への助言、支援を行う。

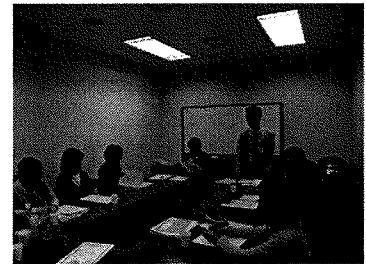
○ 食育の推進を図る啓発活動

- ※ 本市の児童生徒はもちろん、児童生徒の保護者、地域及び市民への啓発を図り、食育に関する意識の向上を図っている。
- ・ 市内全小・中学校で実施する食育講演会
- ・ 「食育推進だより」の発行(年2回)
- ・ 食育ポスターコンクールの実施と食育カレンダーの作成
- ・ 市内小・中学校の食育コーナーの充実
- ・ 鳩ヶ谷市農業祭への参加(産業振興課とのタイアップ)



栄養教諭による授業

食育推進だより
「食育はとがや」



食育推進プロジェクト

ポスターコンクールを
生かした食育カレンダー



○ 先進市(校)への視察等、研修の充実

IV 研究の成果と今後の課題

市内すべての小中学校が取り組むことで、各校の教員はもちろん、児童生徒、保護者、地域の方々の食育に関する意識が向上したことで、朝食欠食率についても、ある程度改善が見られた。

今後は、市内各校が「全国学力・学習状況調査」や「全国体力・運動能力、運動習慣調査」等の結果分析を確実にし、課題や方策を明確にして実践するPDCAサイクルにもとづく取組が行われるよう、学校への支援を行うことが課題である。また、各教科・領域等との関連をふまえた食育指導と、さらなる家庭・地域への啓発と連携を深めた実践をしていく必要がある。

これらの課題を解決し、市内小・中学校の児童生徒に朝食欠食の改善と、食事のマナーや食事の摂り方、感謝する心など、望ましい食習慣が身につくよう、研究の充実を図っていく。